

## 島本町教育委員会 会議録（平成28年第5回 定例会）

日 時	平成28年4月27日（水） 午前9時30分～午前9時45分
場 所	島本町役場 第五会議室
出 席 者	岡本教育長、新井委員、中川委員、高岡委員、藤田委員 北河部長、頼田次長兼教育推進課長 （教育総務課）三浦課長、高島参事、藪内係長、島本主査、中谷 （教育推進課）畑参事、西井参事 （子育て支援課）齊藤課長 （生涯学習課）吉田課長、大柴主幹、南田参事
委 員 及 び 事 務 局 職 員	
欠 席 者	
委 員	
議 題 及 び 議 事 の 趣 旨	第23号議案 島本町青少年指導員の委嘱について 第24号議案 平成27年度大阪府中学生チャレンジテストの結果の公表について
議 決 事 項	第23号議案、第24号議案
教 育 長 の 報 告 の 要 旨	別紙議事録のとおり
そ の 他	傍聴者なし

教育長 ただいまの出席委員は5名で、全員出席であります。  
よって平成28年第5回教育委員会定例会を開会いたします。  
お諮りします。会議録署名委員は島本町教育委員会会議規則第17条の規定により、新井委員に決定してよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

教育長 ご異議がないようでございますので、会議録署名委員は、新井委員に決定いたしました。  
よろしく願いいたします。  
第23号議案「島本町青少年指導員の委嘱について」を議題とします。事務局の説明を求めます。

生涯学習課長 島本町青少年指導員の委嘱につきましては、現在、青少年指導員に関する規則第3条に定める定数15名の内、1名が欠員となっていることから、今回、新たに15番の方の選任をお願いするものです。  
任期につきましては、前任者の残任期間の平成28年5月1日から平成29年3月31日まででございます。

教育長 これより、本案に対する質疑を行います。  
質問のある方は挙手願います。

委員 今回、新たに委員として委嘱される方はどのような方ですか。

生涯学習課長 青少年リーダーの指導者として活躍されるとともに、過去には平成19年度と平成20年度の2年間、青少年指導員を務めていただいております。

教育長 他にございませんか。  
(「なし」の声あり)

教育長 ないようでございますので、質疑を終結いたします。  
これより本案に対する討論を行います。  
(討論なし)

教育長 ないようでございますので、討論を終結いたします。  
それではお諮りします。本案は原案のとおり可決することにご異議ございませんか。  
(「異議なし」の声あり)

教育長 ご異議がないようでございますので、可決することに決しました。  
第24号議案「平成27年度大阪府中学生チャレンジテストの結果

の公表について」を議題とします。事務局の説明を求めます。

#### 教育推進課参事

平成28年1月13日に実施されました、中学校第一学年及び第二学年を対象とした大阪府チャレンジテストの島本町全体の調査結果概要を報告し、公表する内容について議決を得るものです。

資料の1枚目が中学1年生の調査結果及び分析、2枚目・3枚目が中学2年生の調査結果及び分析の概要となっています

中学1年生は、国語・数学・英語、及び意識調査が、中学2年生は、国語・社会・数学・理科・英語と意識調査が実施されました。

教科別の調査結果については、1・2年生とも府の平均を上回る結果となっています。2番の質問紙調査では、授業の理解について、それぞれほぼ府の平均は上回るものの、一部府を下回るものや、どの教科にも否定的回答があることが、調査からうかがえます。

課題解決への方策といたしまして、引き続き、わかる授業づくりに向けた授業改善が課題と考えています。また、教育委員会重点目標にも、自学自習力の育成を掲げており、各学校に対し家庭学習を推進する取組を進めるよう指導を行っており、その効果検証については、11月実施予定の学校教育自己診断でアンケート調査を行う予定です。

なお、本調査結果については、内容についてのご可決を得たのち、地域・保護者への説明責任を果たすため、町のホームページで公開する予定です。

また、今後、大阪府から市町村別の調査結果が公表される予定であることをご承知願います。

加えて、大阪府教育委員会は、本チャレンジテストの実施に当たっては、その調査結果を、大阪府立高等学校入学者選抜における評定の公平性を担保する方策の検証することとして「評定の範囲」及び府全体の評定平均の作成を掲げ、4枚目の資料が作成されたことも、あわせてご報告します。

簡単にご説明いたしますと、学校が作成する5段階の評定に対し、チャレンジテストの得点が、示される範囲にあれば、学校の評定は、信頼性の高いものであることを確認するための資料です。

たとえば、国語評定「3」の生徒が、チャレンジテストで、84点から31点の範囲の得点をとっておれば、学校の評価は妥当である、



します。